

近藤 譲 (作曲) オペラ『羽衣』

* 日本初演・演奏会形式(舞踊付)

Jo Kondo, Composer

ピエール=アンドレ・ヴァラド [指揮] Pierre-André Valade, Conductor

加納悦子 [メゾ・ソプラノ] Etsuko Kanoh, Mezzo-Soprano

厚木三杏 [舞踊] Mia Atsugi, Dance

塩田朋子 [ナレーター] Tomoko Shiota, Narrator

多久潤一朗 [フルート] Jun-ichiro Taku, Flute

読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

女声合唱団 暁 Akatsuki, Female Choir

合唱指揮: 西川竜太 Ryuta Nishikawa, Chorusmaster

©Masaco Kondo



SUNTORY HALL

サントリーホール 大ホール

S席 9,900円 | A席 7,700円 | U25席 2,200円

2025年 8月28日(木)

19:30開演(18:50開場) *休憩なし

サントリーホール・メンバーズ・クラブ
先行発売

2025年
4月12日(土)10時~18日(金)

一般発売

2025年4月19日(土)10時~

チケット取り扱い
お問合せ

サントリーホールチケットセンター

☎ 0570-55-0017 10:00~18:00 (休館日を除く)

※U25席はサントリーホールチケットセンター(WEB・電話・窓口)のみ取り扱い。25歳以下、来場時に身分証提示要。
※出演者・曲目が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。最新情報はホームページにて発表します。
※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。※本公演は休憩がありません。開演時間に遅れるとご入場いただけない場合がございますので、ご了承ください。

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB suntoryhall.pia.jp

チケットぴあ t.pia.jp | イープラス eplus.jp | ローソンチケット l-tike.com

第55回サントリー音楽賞受賞記念コンサート

毎年、わが国の洋楽の発展にもっとも顕著な業績のあった個人または団体に贈られるサントリー音楽賞。第55回(2023年度)は、近藤譲が受賞しました。海外で最も著名な日本の作曲家のひとりであり、独自の作曲技法や音楽観は次世代に大きな影響を与え続けています。知的で誠実な創作活動を通じて、多方面から高い評価を受け、2024年には文化功労者にも選出されました。今回は、各所から上演が熱望されている唯一のオペラ『羽衣』の日本初演をお届けします。サントリーホールで繰り広げられる幻想的な羽衣伝説の世界に、どうぞご期待ください。



贈賞理由はこちら

Program

近藤 譲^{にわたこ}：『接骨木の3つの歌』

Jo Kondo: *Three Songs of the Elderberry Tree*
for Solo Violin with Percussion Accompaniment

近藤 譲：オペラ『羽衣』

* 日本初演・演奏会形式(舞踊付)

Jo Kondo: *Hagoromo*
[Japanese premiere, concert version in opera with dance]

作曲 近藤 譲 Jo Kondo, Composer

1947年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。ロックフェラー財団やブリティッシュ・カウンシルの招きで米国、英国に滞在。ハーバード大学、イーストマン音楽院、ケルン大学、ハンブルク音楽大学ほか、欧米の多数の大学で講演や講師、客員教授などを務め、ガウデアムス国際作曲コンクール、芥川作曲賞、武満徹作曲賞などの作曲コンクールの審査員も務めた。パリの秋、ハダースフィールド国際音楽祭、タングルウッド音楽祭、コンボージアム(東京)など、国内外の音楽祭で特集が組まれている。1980～1991年、現代音楽アンサンブル「ムジカ・プラクティカ」音楽監督。作品は、オペラ、オーケストラ、室内楽、独奏曲、

合唱、電子音楽など広範におよび、作品の楽譜は主に英国のヨーク大学音楽出版局(UYMP)から出版されている。1991年尾高賞、2005年中島健蔵音楽賞、2018年芸術選奨文部科学大臣賞、2024年サントリー音楽賞を受賞。2012年アメリカ芸術・文学アカデミー外国人名誉会員(終身)に、2024年文化功労者に選ばれた。エリザベト音楽大学、お茶の水女子大学、東京藝術大学などで教鞭をとり、現在は昭和音楽大学教授、お茶の水女子大学名誉教授。日本現代音楽協会理事長。主な著書に、『線の音楽』、『聴く人』、『ものがたり西洋音楽史』(毎日出版文化賞特別賞)がある。

©Jörgen Axelvall



指揮
ピエール＝
アンドレ・
ヴァレド

© Guy Vivien



メゾ・ソプラノ
加納悦子



舞踊
厚木三杏



ナレーター
塩田朋子



フルート
多久潤一朗



読売日本交響楽団

© 読売日本交響楽団



女声合唱団 暁



合唱指揮
西川竜太

作品とあらすじ

近藤譲のオペラ『羽衣』(1994)は、フィレンツェ五月音楽祭(フィレンツェ市立歌劇場)の委嘱で作曲され、ロバート・ウィルソンの演出で初演された。台本は作曲家自らが担当し、世阿弥の原文から核となる部分を抽出して構成されている。

駿河の三保の松原で、伯陵という漁師が松の枝に掛かった美しい羽衣を見つけ、家宝にしようと持ち帰ろうとすると、天に帰るために羽衣が必要だと嘆く天人が現れ、返してほしいと訴える。漁師は、最初は聞き入れないが、天人の悲しむ姿に心を動かされ、天上の舞を見せてもらうことを条件に羽衣を返すことにする。羽衣をまとった天女は、三保の松原の春の美しさを賛美しながら優雅に舞い、やがて富士山の方へ舞い上がり、霞の中に姿を消していった。



公演詳細はこちら

さらに深く知りたい方へ

『A SHAPE OF TIME - the composer Jo Kondo』(2016年)

監督: ヴィオラ・ルシェ / ハツケ・ハーダー、約100分、日本語字幕付

オペラ『羽衣』日本初演の機会にあわせて、
作曲家・近藤譲のドキュメンタリー映画を上映します。

2025年8月28日(土) 17:00開始(16:30開場)

全席自由 一般席 1,000円 | U25席 500円 会場 サントリーホール ブルーローズ(小ホール)

※サントリーホールチケットセンター(WEB・電話・窓口)のみの取り扱い、発売日・注意事項などは、同日19:30開演のオペラ『羽衣』公演に準じます。